



「おいしく食べよう会」。9月のメニューは、ちらし寿司、高野豆腐に切干し大根、お吸い物。食後は笑ったり考えさせられたりの懇談会。(9/3 楠葉学習市民センター)

平和がいちばん

2018年9月15日 第135号
平和で豊かな枚方を
市民みんなでつくる会

維新市政と安倍改憲を阻む力を集めよう

翁長知事の逝去に伴い沖縄知事選は9月30日に投票が行われます。「問われているのは、辺野古に基地をつくるか否かにとどまらない。民意に基づく地方からの異議申し立てに中央はどう向き合うべきか。そんなすべての自治体にかかる重いテーマだ」(9月1日朝日新聞社説)。自公推薦の候補は辺野古問題には一切触れず、中央との関係改善だけを強調するようです。この選挙戦は沖縄一地方の選挙にとどまらない意味を持っています。民意を無視した国の一方的な押し付けを容認すれば、住民自治、地方自治破壊が全国各地で当たり前になります。平和と民主主義、市民の権利を守るために、私たちもできる限りの応援をしましょう。

安倍首相は、森友・加計疑惑をうやむやにしたまま9条改憲に突き進もうとしています。「党としての憲法改正案を次の国会に提出できるよう取りまとめを急ぐべき」と発言しました。そして来年の国民投票を狙っています。紆余曲折はありながらも、

朝鮮半島や東アジアの緊張緩和は進み、朝鮮はミサイル実験や核実験を行っていないし、米軍の軍事演習も止まっています。しかし日本の「防衛白書」は朝鮮の脅威は変わっていないとの情勢判断で、他国を攻撃できる装備を増強しています。来年度の防衛予算は、今年度を上回り史上最高の5兆3千億円が見込まれています。一方、社会保障費は費用削減のため様々な改悪が行われ、格差拡大、市民生活は圧迫されています。

来春の統一地方選挙まで国政選挙は行われません。半年後に迫った地方選挙は、安倍自公政権の憲法改悪、軍事力強化、福祉切り捨てに市民がNOの声を突きつける大事な選挙です。枚方ではなんでも民間まかせを推進し、市民負担を増やす維新市政にNOを突きつける選挙でもあります。平和と民主主義の道か、国民支配を強め戦争する国づくりを進める道を許すのか、私たちにかかっています。対話を重ね賛同者を拓けることに全力で頑張ります。

意見

図書館分室の閉鎖反対 駒木根 潔子

一万冊程の図書が並ぶ分室を訪れる度に感じるのと、それは二人の司書に守られた小規模で静かな読書環境が実に心地よいことだ。地域に溶け込んだ落ち着きが子供からその母親、高齢者までを「本の海」へ誘っている。

「香里ヶ丘図書館を見守る会」と「図書館行政を考える会」は、八月十二日から九月三日まで、釈尊寺・東香里・茄子作の三分室と二つのスーパー近辺で「シール投票」を実施した。昨年

末と今年二月、市は香里ヶ丘図書館建替えに関する市民説明会を開いたが、新香里ヶ丘図書館の完成に続き、その利用圏域を広げ、そこに含まれる上記三分室を閉鎖するとの方針を出した。しかし「香里ヶ丘まで坂道が多く大変」「バスを二本乗り継ぐと往復九二〇円」「小学生は放課後校区外へ出られない」「高

齢者・子供・乳幼児の母親にとつて、かけがえのない居場所」と市のアンケートにも多くの声が寄せられた。それに対する市の答えは常に「分室閉鎖」ありきの紋切り型。「人口減少による税収減」「高齢化社会の進行と財政負担増」「人件費や施設運営費が負担になっていく」である。一分室の経費は約一千万円。「お金の問題だけで分室を切り捨てないで、市民の暮らしに寄り添った市政運営を」と市民は声を挙げる。

八月二二日、東香里小学校の説明会では市民の声がさらに大きくなり、中央図書館長は「持ち帰り、検討し、回答する」と言わざるを得なかった。シール投票の結果は「分室を残してほしい」九二%、「残さなくてよい」一%、「わからない」七%である。市民に最も近い「知と文化と地方自治の拠点」は残すべきだ。

手塚たかひろ 議員日誌



1947年佐賀県唐津市生まれ
京都大学経済学部卒 京都市役所34年間勤務 主に福祉職場で働く 2011年市議初当選 現在2期目

8月21日 **講演会に参加** 枚方市中央図書館主催の大人の学校「鶴島昭雄さんに聞く戦争体験」。軍国少年だった鶴島昭雄さんは戦争が終わるまで、「神風」が吹くと信じ国の為に死ぬのだと思っていた。軍国教育に洗脳され結果だ。道徳教育の推進、憲法改悪の動き、戦争の足音が聞こえる。今のうちに、多くの方に戦争体験を語ってほしい。

8月27・28日 **市議会全員協議会** 大阪北部地震について市の対応や今後の課題が報告され私も含めて18名の議員が質問。私は、市民会館大ホールが来年6月まで使用できないことについても質問した。「数年前に耐震補強や天井の補強工事をしたにもかかわらず長期間使用できないことは、何のための工事だったか納得できない」「いつ工事に入っていつ再開するのか」と聞くが、市から明確な答えはない。しかしその2日後、**市民会館大ホール廃止の方針**が記載された資料が配布された。全員協議会時点でその方針は決まっていたはず。不誠実極まりない市のやり方に腹の底からの怒りを感じる。

9月4日 **台風21号襲来** 猛威を振るった。我が家の近くでも高齢者施設の屋根が飛び、山田神社の樹木が倒れた。被害にあわれた方にお見舞い申し上げます。我が家もベランダの柱が傾いた。被害家屋の補修を必要とされる方もおられる。先の地震で新設された被災建物修繕補助金は台風の被害は対象にならないとのこと。地震も台風も生活基盤の被害に変わりはない。台風被害も支援できる改善が必要だ。

8月22日 8月分議員報酬から大阪法務局に218,200円を供託。私は**政務活動費は受けとっていません**。

松田久子 ホットタイム



1957年彦根市生まれ 滋賀大学教育学部卒 81年から枚方市の障がい児施設・高齢者施設で働き 介護職経験33年 ケアマネジャー10年 介護・福祉「すずらの集い」代表

戦争も 戦争準備も 私は許しません

9月20日は自民党の総裁選。安倍政権は3選に向けた動きの中で改憲に向けた意欲を一層鮮明にしている。秋の臨時国会から通常国会が、改憲の動きの重大な局面になろうとしている。「朝鮮半島」の緊張緩和が進む中、停戦状態から戦争終結へと平和の動きを大きく進める時である。そして、日本はその一翼を担うべき責任、立場にあるにもかかわらず、安倍政権は改憲を行い、緊張を激化させようとしている。

また9月30日は、沖縄県知事選挙である。急逝された翁長知事の意志を受け継いで辺野古新基地建設を許さない沖縄県民の民意が実現することを願う。

映画「沖縄スパイ戦史」（監督：三上智恵、大矢英代）をみた。唯一、地上戦が行われ、住民の4人に一人が亡くなった沖縄戦。「軍隊は住民を守らない」ことを沖縄戦は教えていると思っていたが、実際はそれ以上のことが行われていたのである。「軍隊は住民を利用し、住民を殺す」。日本兵は、住民が投降し米軍に寝返り「軍の秘密」を漏らされることを恐れ、住民をスパイ容疑で殺していったのである。しかも、その情報は同じ住民の中から提供された密告という形で。改めて戦争の狂気を感じ、市民を分断していく恐怖が現在に重なった。私は戦争も戦争準備も許さない行動を続けていきます。

〒573-0027

枚方市大垣内町
2丁目8-27
シンエービル別館A

市民の広場ひこばえ

TEL&FAX

072-846-8780

平和で豊かな枚方を市民みんなでつくる会

共同代表 鈴木めぐみ（親と子のリズム遊び講師）

奥村 秀二（弁護士）

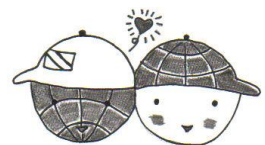
おおた幸世（枚方市平和無防備条例を実現する会）

事務局長 手塚 隆寛（枚方市会議員）

事務局次長 松田 久子（「すずらの集い」代表）

メールアドレス：hiratkatasiminokai@yahoo.co.jp

ホームページ：<http://hiratkatasiminokai.jimdo.com/>



「会」のシンボルマーク
塔本賢一さん作